

平成 30 年度
熊本市アライグマ生息状況調査
業務委託

報 告 書
(抜粋版)

平成 31 年 2 月

株式会社 地域環境計画 九州支社

目次

1. 業務概要	1
1-1 業務名	1
1-2 業務目的.....	1
1-3 実施履行期間	1
1-4 業務履行場所	1
1-5 業務項目.....	1
2. 業務内容	2
2-1 生息状況調査	2
(1) 熊本県内におけるアライグマ確認状況の整理.....	2
(2) 調査箇所を選定	3
(3) 調査の実施	5
(4) 調査結果.....	19
(5) アライグマ確認状況の再整理.....	31
(6) 熊本市におけるアライグマ確認の経年推移	33

1. 業務概要

1-1 業務名

平成 30 年度熊本市アライグマ生息状況調査業務委託

1-2 業務目的

本市においてアライグマは平成 22 年に南区で 1 頭が確認されて以降確認されていなかったが、平成 29 年度に入り、南区において足跡の発見、北区において自動撮影カメラによる個体の撮影、また西区においてへい死体の発見があり、その侵入は確実となっている。本市に隣接する周辺自治体での捕獲や確認も相次いでおり、今後数の増加や生息域の拡大により、甚大な被害（農業被害・生活被害・生態系被害）が発生する可能性が高い。

本業務は、平成 28 年 3 月に策定した「熊本市生物多様性戦略～いきもん つながる くまもと C プラン～」を踏まえ、熊本市において特に対策が必要な侵略的外来種として想定されるアライグマについて、フィールドサイン調査及び自動撮影カメラ設置により生息状況及び被害状況を把握し、侵入監視を行うことにより、アライグマの防除対策に資することを目的とした。

1-3 実施履行期間

平成 30 年 6 月 28 日より平成 31 年 2 月 28 日まで

1-4 業務履行場所

熊本市

1-5 業務項目

本業務の業務数量は以下に示すとおりである。

表 1-1 業務項目

項目	数量	単位
(1) 生息状況調査	1	式
(2) 打ち合わせ及び報告	1	式

2. 業務内容

2-1 生息状況調査

(1) 熊本県内におけるアライグマ確認状況の整理

調査箇所を選定にあたり、熊本県内におけるこれまでのアライグマ確認状況の整理を行った。

熊本県内においては、本業務開始時である平成30年5月時点で33例のアライグマ生息情報が確認されていた。生息確認状況一覧を表2-1に示す。

熊本市内においては、平成22年に県下初となる南区城南町での確認以降、確かな情報はなかったが、平成29年度に入り、6月に南区野田の河川（加勢川）沿いで足跡が、9月に北区植木町に設置した自動撮影カメラによる個体の撮影、平成30年1月に西区西松尾町でへい死体が確認された。

また、それに前後して山鹿市、玉名市、南関町、和水町、宇土市と周辺市町での確認が相次いでいる。

表 2-1 熊本県内におけるアライグマ生息確認状況一覧（1）

（平成30年5月22日時点）

No.	場 所	確認方法	頭数	捕獲等年月日	周辺環境
1	熊本市南区城南町鰐瀬	写真	1	H22.9.19	
2	上益城郡御船町	写真	1	H24.3.3	
3	上益城郡御船町	写真	1	H24.4.28	耕作地脇の沢
4	荒尾市平山小山	捕獲	1	H26.2.3	里山
5	菊池市重味	写真	1	H26.7.25	ブドウ園
6	阿蘇郡小国町大字下城	写真	1	H26.9.30	山林
7	阿蘇郡小国町大字黒淵	写真	1	H26.10.1	山林
8	阿蘇郡小国町大字下城	写真	1	H26.10.3	山林
9	阿蘇郡小国町大字黒淵	捕獲	1	H26.10.23	山林
10	玉名市下	死亡個体	1	H26.12.24	道路上事故死
11	山鹿市鹿北町大字多久	捕獲	1	H27.12.4	里山
12	宇城市松橋町竹崎	写真	2	H28.2.22	道路沿い
13	阿蘇郡高森町大字上色見字大村	捕獲	1	H28.3.20	里山
14	山鹿市小坂	死亡個体	1	H28.9.24	道路上事故死
15	玉名市安楽寺染山地内	捕獲	2	H28.11.6	里山
16	山鹿市	捕獲	1	H28.11.22	鳥獣捕獲記録より
17	山鹿市	捕獲	1	H28.11.15-H29.2.15	鳥獣捕獲記録より
18	上益城郡益城町小池	写真(足跡)	1	H29.3.5	水田脇水路
19	宇城市松橋町曲野	捕獲(幼獣)	1	H29.6.9	メロンハウス
20	熊本市南区野田	写真(足跡)	1	H29.6.21	河川沿い
21	熊本市北区植木町豊岡	写真	1	H29.9.23	水路沿い
22	上益城郡山都町金内	死亡個体	1	H29.10.16	道路上事故死
23	宇城市三角町大田尾	死亡個体	1	H29.11.13	道路上事故死
24	熊本市西区西松尾町	死亡個体	1	H30.1.16	道路上事故死
25	山鹿市菊鹿町上内田	捕獲	1	H30.2.21	林道沿い

表 2-1 熊本県内におけるアライグマ生息確認状況一覧 (2)

No.	場 所	確認方法	頭数	捕獲等年月日	周辺環境
26	玉名郡南関町関東	写真	1	H30.2.26	ため池
27	玉名市安楽寺	捕獲	1	H30.3.1	畑
28	玉名郡南関町関東	写真	1	H30.3.23	ため池
29	玉名郡和水町日平	捕獲	1	H30.4.24	林道沿い
30	宇土市岩古曾町	写真	1	H30.4.25	民家付近通路
31	玉名郡和水町日平	捕獲	1	H30.4.26	林道沿い
32	玉名郡南関町関東	捕獲	1	H30.5.5	ため池脇
33	玉名郡南関町関東	死亡個体	1	H30.5.22	道路沿い
33 事例 個体確認 35 頭(うち捕獲及び死亡個体 20 頭)					

※ : 熊本市内での確認

(2) 調査箇所の選定

これまでにアライグマが確認されている南区城南町鰐瀬及び野田、北区植木町豊岡、西区西松尾町を中心とし、さらに、周辺市町での確認情報を基に新たな侵入の可能性を検討し、調査箇所を選定した。特に移動経路となることが想定される河川等の水域、餌場としての利用が想定される果樹園及び耕作地、ねぐら等の利用が想定される樹林地といった環境が複合的に存在する箇所に着目し、調査を実施した。なお、調査箇所の選定に際しては、有識者(森林総合研究所 九州支所 安田雅俊氏)にヒアリングを行い、助言を得た。有識者ヒアリングの記録簿は資料編に示す。

調査箇所の選定結果を表 2-2 に、調査箇所位置を図 2-1 に示す。

表 2-2 調査箇所の選定結果

地区	選定箇所
北区	① 平成 29 年に確認されている植木町豊岡地区周辺 ② 山鹿市からの侵入経路として予想される合志川支流及び金比羅山麓
西区	③ 平成 30 年に確認されている西松尾町周辺 (坪井川及び国道 501 号線沿い)
南区	④ 平成 29 年に足跡が確認されている野田地区の緑川及び加勢川周辺 ⑤ 平成 30 年に確認されている宇土市岩古曾町に近接する富合町 ⑥ 宇城市松橋町の確認地点に近く、平成 22 年に記録がある城南町

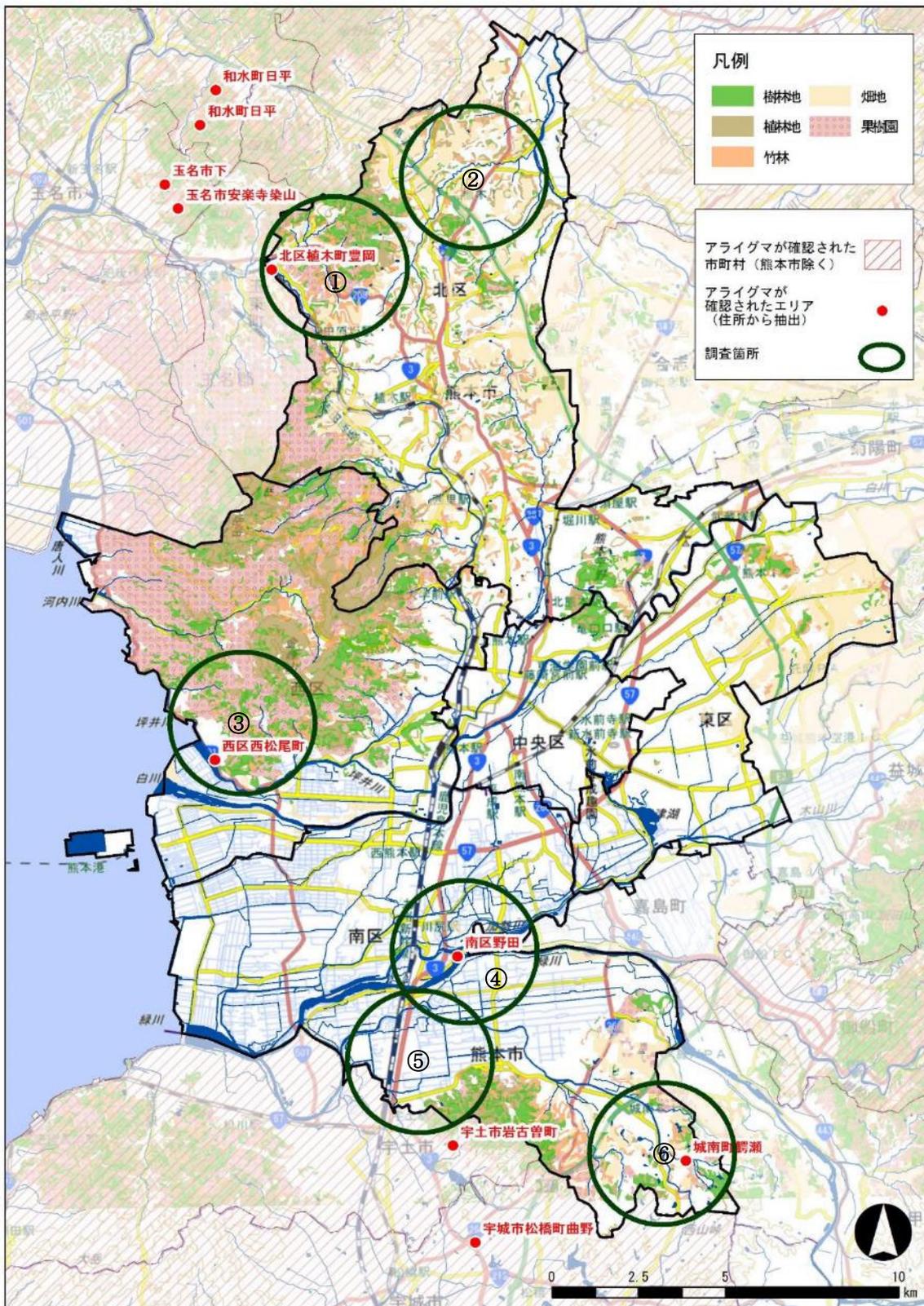


図 2-1 調査箇所位置図

(3) 調査の実施

設定した調査箇所において、フィールドサイン（足跡、爪痕、糞、食痕等）調査及び自動撮影カメラ調査を実施した。

フィールドサイン調査では痕跡の残りやすい水辺環境や耕作地、また社寺等の爪痕にも留意して調査を実施した。自動撮影カメラ調査ではフィールドサイン調査においてアライグマの可能性のある痕跡が確認された付近や、アライグマの出没が予想される場所に自動撮影カメラを設置した。フィールドサイン調査は10人日以上、自動撮影カメラ調査はカメラを20台以上、150日以上設置することとした。また、カメラの近くに誘引剤（落花生、ビーフジャーキー、コーン菓子など）を設置し、撮影の確率を向上させるよう努めた。

フィールドサイン調査の実施日程を表2-3、自動撮影カメラ調査の実施日程を表2-4、自動撮影カメラの設置状況を表2-5～7に示し、フィールドサイン調査実施位置及び自動撮影カメラ設置位置を図2-2～7に示す。

表 2-3 フィールドサイン調査実施日程

項目	調査日
フィールドサイン調査	(北区) 平成30年7月25日、26日
	8月3日、7日、8日、17日
	12月6日
	平成31年1月11日
	(西区) 平成30年7月24日
	8月3日
	平成31年1月11日
	(南区) 平成30年8月7日、8日、16日、17日
	9月10日、21日
	計12日



フィールドサイン調査実施状況

表 2-4 自動撮影カメラ調査実施日程

カメラ No.	カメラ地点	設置日	回収日	設置日数	合計日数
No. 1	北-1	H30. 7. 25	H31. 2. 15	205	205
No. 2	北-2	H30. 7. 26	H30. 12. 6	133	204
	北-10	H30. 12. 6	H31. 2. 15	71	
No. 3	北-3	H30. 8. 8	H30. 12. 6	120	191
	北-11	H30. 12. 6	H31. 2. 15	71	
No. 4	北-4	H30. 8. 8	H31. 2. 15	191	191
No. 5	北-5	H30. 8. 17	H31. 1. 11	147	182
	北-12	H31. 1. 11	H31. 2. 15	35	
No. 6	北-6	H30. 8. 7	H31. 2. 15	192	192
No. 7	北-7	H30. 8. 7	H31. 2. 15	192	192
No. 8	北-8	H30. 7. 26	H31. 2. 15	204	204
No. 9	北-9	H30. 7. 26	H31. 2. 15	204	204
No. 10	西-1	H30. 8. 3	H31. 2. 15	196	196
No. 11	西-2	H30. 8. 3	H31. 2. 15	196	196
No. 12	西-3	H30. 8. 3	H31. 2. 15	196	196
No. 13	南-1	H30. 8. 16	H31. 2. 15	183	183
No. 14	南-2	H30. 8. 16	H31. 2. 15	183	183
No. 15	南-3	H30. 8. 16	H31. 2. 15	183	183
No. 16	南-4	H30. 8. 16	H31. 2. 15	183	183
No. 17	南-5	H30. 8. 16	H31. 2. 15	183	183
No. 18	南-6	H30. 8. 16	H31. 2. 15	183	183
No. 19	南-7	H30. 8. 16	H31. 2. 15	183	183
No. 20	南-8	H30. 8. 17	H31. 2. 15	182	182



自動撮影カメラ設置状況



誘引剤の設置状況

表 2-5 自動撮影カメラ設置状況 [北区] (1)

カメラ No.	設置環境	設置期間
<p>北-1</p> 	<p>【設置場所】 北区植木町清水 緯度：32° 56′ 55.9″ 経度：130° 40′ 9.6″</p> <p>【設置環境】 スイカ畑（ハウス内）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●山鹿市との境界部 ●スイカに被害あり ●アライグマが出没する可能性があることから設置 	<p>H30. 7. 25～H31. 2. 15 ※H30. 8. 23 ハウス外に移動</p>
<p>北-2</p> 	<p>【設置場所】 北区植木町清水 緯度：32° 56′ 49.5″ 経度：130° 40′ 19.2″</p> <p>【設置環境】 ブドウ畑</p> <ul style="list-style-type: none"> ●山鹿市との境界部 ●ブドウに被害は無し ●アライグマが出没する可能性があることから設置 	<p>H30. 7. 26～H30. 12. 6 (北-10 に移動)</p>
<p>北-3</p> 	<p>【設置場所】 北区植木町清水 緯度：32° 56′ 19.6″ 経度：130° 40′ 16.3″</p> <p>【設置環境】 神社境内</p> <ul style="list-style-type: none"> ●山鹿市との境界部 ●神社の柱に爪痕あり、屋根裏への出入り跡あり ●アライグマによる利用の可能性があるので設置 	<p>H30. 8. 8～H30. 12. 6 (北-11 に移動)</p>
<p>北-4</p> 	<p>【設置場所】 北区植木町清水 緯度：32° 56′ 9.8″ 経度：130° 40′ 17.0″</p> <p>【設置環境】 沢沿い</p> <ul style="list-style-type: none"> ●山鹿市との境界部 ●移動経路となる沢沿いに設置 	<p>H30. 8. 8～H31. 2. 15</p>
<p>北-5</p> 	<p>【設置場所】 北区植木町今藤 緯度：32° 56′ 20.1″ 経度：130° 41′ 43.8″</p> <p>【設置環境】 水路沿い</p> <ul style="list-style-type: none"> ●合志川支流の豊田川に隣接する水路沿い ●移動経路となる水路沿いに設置 	<p>H30. 8. 17～H31. 1. 11 (北-12 に移動)</p>

表 2-5 自動撮影カメラ設置状況 [北区] (2)

カメラ No.	設置環境	設置期間
北-6 	<p>【設置場所】 北区植木町平原 緯度：32° 55′ 53.9″ 経度：130° 39′ 6.1″</p> <p>【設置環境】 樹林内 ●山鹿市、玉東町との境界部 ●アライグマ確認地点に隣接する樹林内に設置</p>	H30. 8. 7～H31. 2. 15
北-7 	<p>【設置場所】 北区植木町平原 緯度：32° 55′ 52.4″ 経度：130° 39′ 4.7″</p> <p>【設置環境】 沢沿い ●山鹿市、玉東町との境界部 ●アライグマ確認地点の下流に位置する沢沿いに設置</p>	H30. 8. 7～H31. 2. 15
北-8 	<p>【設置場所】 北区植木町鈴麦 緯度：32° 55′ 36.1″ 経度：130° 38′ 32.9″</p> <p>【設置環境】 沢沿い ●玉東町との境界部 ●移動経路となる沢沿いに設置</p>	H30. 7. 26～H31. 2. 15
北-9 	<p>【設置場所】 北区植木町豊岡 緯度：32° 54′ 56.7″ 経度：130° 38′ 19.3″</p> <p>【設置環境】 水路沿い ●H29年のアライグマ確認地点 ●移動経路となる水路沿いに設置</p>	H30. 7. 26～H31. 2. 15
北-10 	<p>【設置場所】 北区植木町平原 緯度：32° 55′ 46.1″ 経度：130° 39′ 2.0″</p> <p>【設置環境】 沢沿い ●アライグマが撮影された北-7下流 ●アライグマが出没する可能性があることから設置</p>	H30. 12. 6～H31. 2. 15

表 2-5 自動撮影カメラ設置状況 [北区] (3)

カメラ No.	設置環境	設置期間
<p>北-11</p> 	<p>【設置場所】 北区植木町鈴麦 緯度：32° 55′ 37.9″ 経度：130° 38′ 42.4″</p> <p>【設置環境】 湿地・カキ畑</p> <ul style="list-style-type: none"> ●アライグマが撮影された北-8 に近接する湿地 ●カキ畑が隣接し、出没する可能性があることから設置 	<p>H30. 12. 6～H31. 2. 15</p>
<p>北-12</p> 	<p>【設置場所】 北区植木町平原 緯度：32° 55′ 20.3″ 経度：130° 39′ 18.7″</p> <p>【設置環境】 湿地</p> <ul style="list-style-type: none"> ●アライグマが確認された北-7、10 の下流側 ●養魚場に隣接し、出没する可能性があることから設置 	<p>H31. 1. 11～H31. 2. 15</p>

表 2-6 自動撮影カメラ設置状況 [西区]

カメラ No.	設置環境	設置期間
<p>西-1</p> 	<p>【設置場所】 西区松尾町近津 緯度：32° 48′ 22.5″ 経度：130° 36′ 41.5″</p> <p>【設置環境】 沢沿い ●H30 年のアライグマ確認地点の北側に位置する地点 ●巨木が残存する近津鹿島神社に隣接 ●移動経路となる沢沿いの林道に設置</p>	<p>H30. 8. 3～H31. 2. 15</p>
<p>西-2</p> 	<p>【設置場所】 西区西松尾町 緯度：32° 47′ 50.9″ 経度：130° 37′ 16.9″</p> <p>【設置環境】 沢沿い ●H30 年のアライグマ確認地点に近接する地点 ●移動経路となる沢沿いの林道に設置</p>	<p>H30. 8. 3 ～H31. 2. 15</p>
<p>西-3</p> 	<p>【設置場所】 西区中松尾町 緯度：32° 47′ 33.8″ 経度：130° 38′ 13.4″</p> <p>【設置環境】 沢沿い ●H30 年のアライグマ確認地点の東側に位置する地点 ●移動経路となる沢沿いに設置</p>	<p>H30. 8. 3～H31. 2. 15</p>

表 2-7 自動撮影カメラ設置状況 [南区] (1)

カメラ No.	設置環境	設置期間
南-1 	【設置場所】 南区野田 緯度：32° 44′ 5.9″ 経度：130° 41′ 33.1″ 【設置環境】 河川沿い (緑川右岸 加勢川水門) ●野田地区アライグマ足跡確認地点 ●移動経路となる河川沿いに設置	H30. 8. 16～H31. 2. 15
南-2 	【設置場所】 南区御幸木部町 緯度：32° 44′ 44.9″ 経度：130° 43′ 6.6″ 【設置環境】 神社脇 ●野田の足跡確認地点の上流に位置する地点 ●加勢川と木部川に挟まれた木部阿蘇神社で爪痕あり ●アライグマが出没する可能性があることから設置	H30. 8. 16～H31. 2. 15
南-3 	【設置場所】 南区富合町平原 緯度：32° 41′ 52.7″ 経度：130° 41′ 23.0″ 【設置環境】 沢沿い ●宇土市岩古曾町の確認地点に近接する地点 ●雁回山北側の沢沿いに設置	H30. 8. 16～H31. 2. 15
南-4 	【設置場所】 南区富合町木原 緯度：32° 42′ 10.4″ 経度：130° 42′ 7.3″ 【設置環境】 沢沿い ●宇土市岩古曾町の確認地点に近接する地点 ●雁回山北側の沢沿いに設置	H30. 8. 16～H31. 2. 15
南-5 	【設置場所】 南区城南町阿高 緯度：32° 41′ 37.2″ 経度：130° 43′ 21.2″ 【設置環境】 沢沿い ●H30 年のアライグマ捕獲地点脇 ●移動経路となる沢沿いに設置	H30. 8. 16～H31. 2. 15

表 2-7 自動撮影カメラ設置状況 [南区] (2)

カメラ No.	設置環境	設置期間
南-6 	<p>【設置場所】 南区城南町東阿高 緯度：32° 41′ 42.5″ 経度：130° 43′ 31.5″</p> <p>【設置環境】 沢沿い ●H30 年のアライグマ捕獲地点に近接する地点 ●移動経路となる沢沿いに設置</p>	H30. 8. 16～H31. 2. 15
南-7 	<p>【設置場所】 南区城南町鰐瀬 緯度：32° 40′ 54.1″ 経度：130° 45′ 15.9″</p> <p>【設置環境】 水路沿い ●H29 にアライグマの可能性のある個体が撮影された地点 ●移動経路となる水路沿いに設置</p>	H30. 8. 16～H31. 2. 15
南-8 	<p>【設置場所】 南区城南町鰐瀬 緯度：32° 40′ 7.0″ 経度：130° 46′ 10.3″</p> <p>【設置環境】 ため池脇（流入部） ●H22 年のアライグマ確認地点に近接する地点 ●移動経路となるため池の流入部に設置</p>	H30. 8. 17～H31. 2. 15

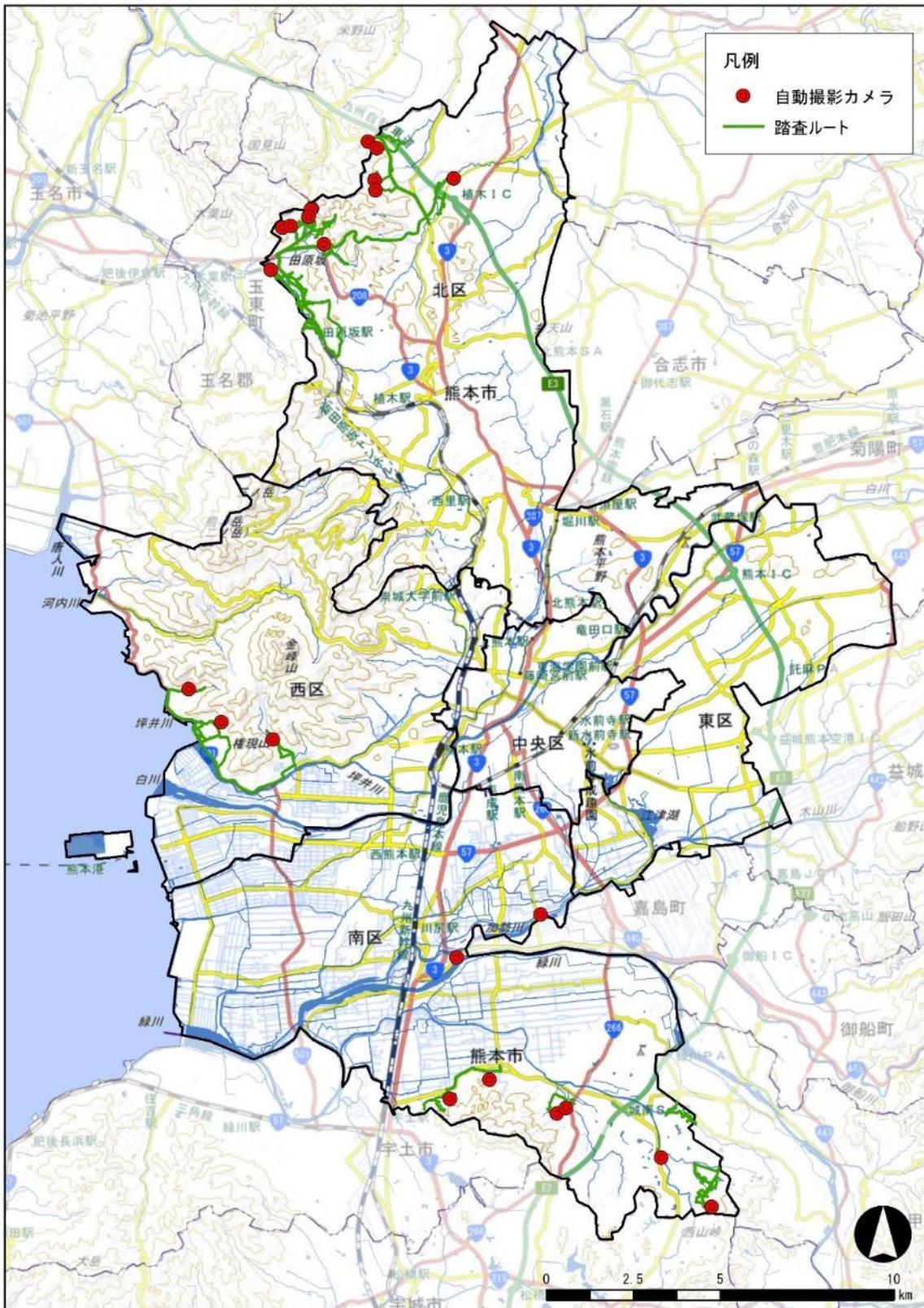


図 2-2 調査実施箇所（全体）

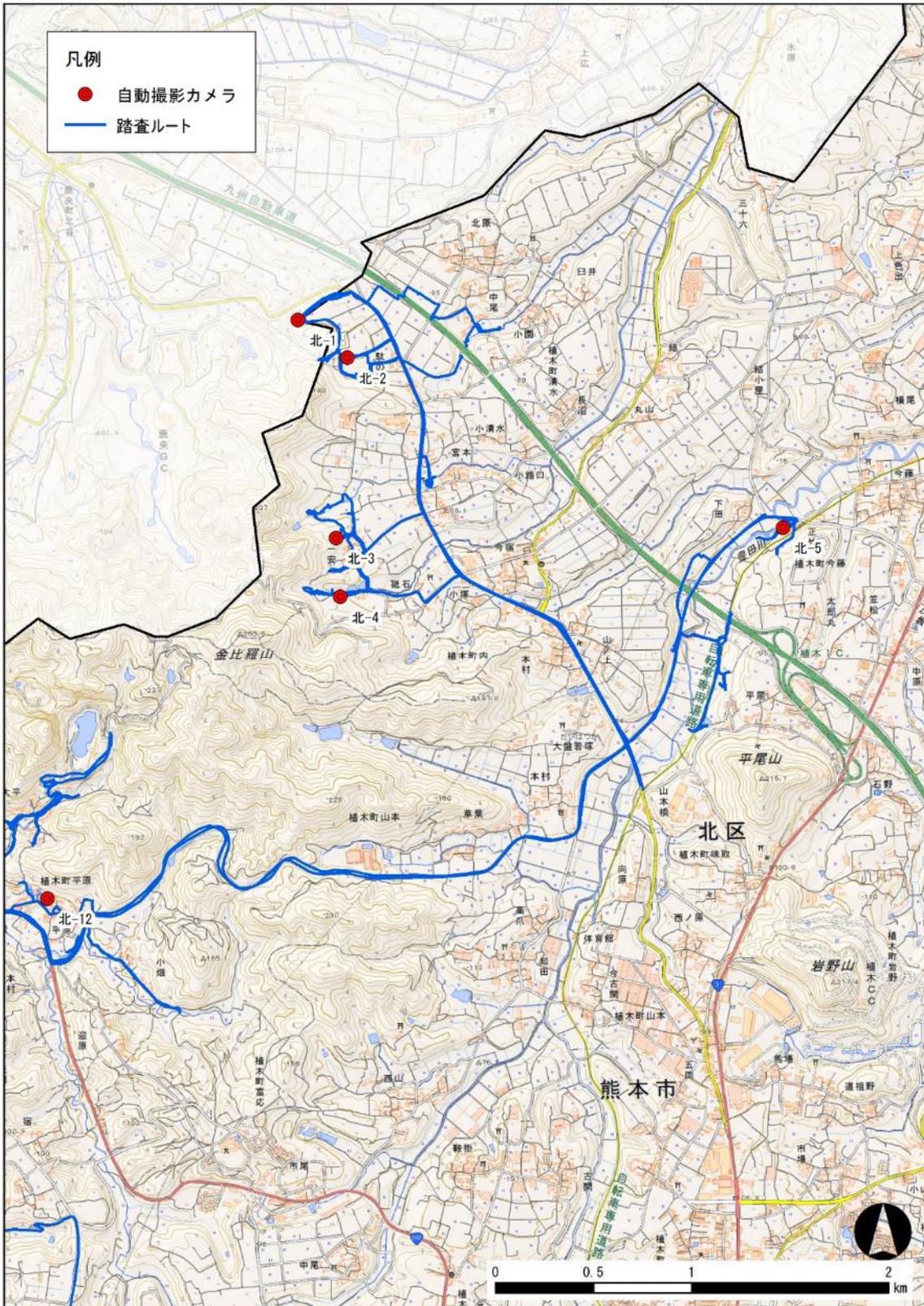


図 2-3 調査実施箇所（詳細：北区-1）

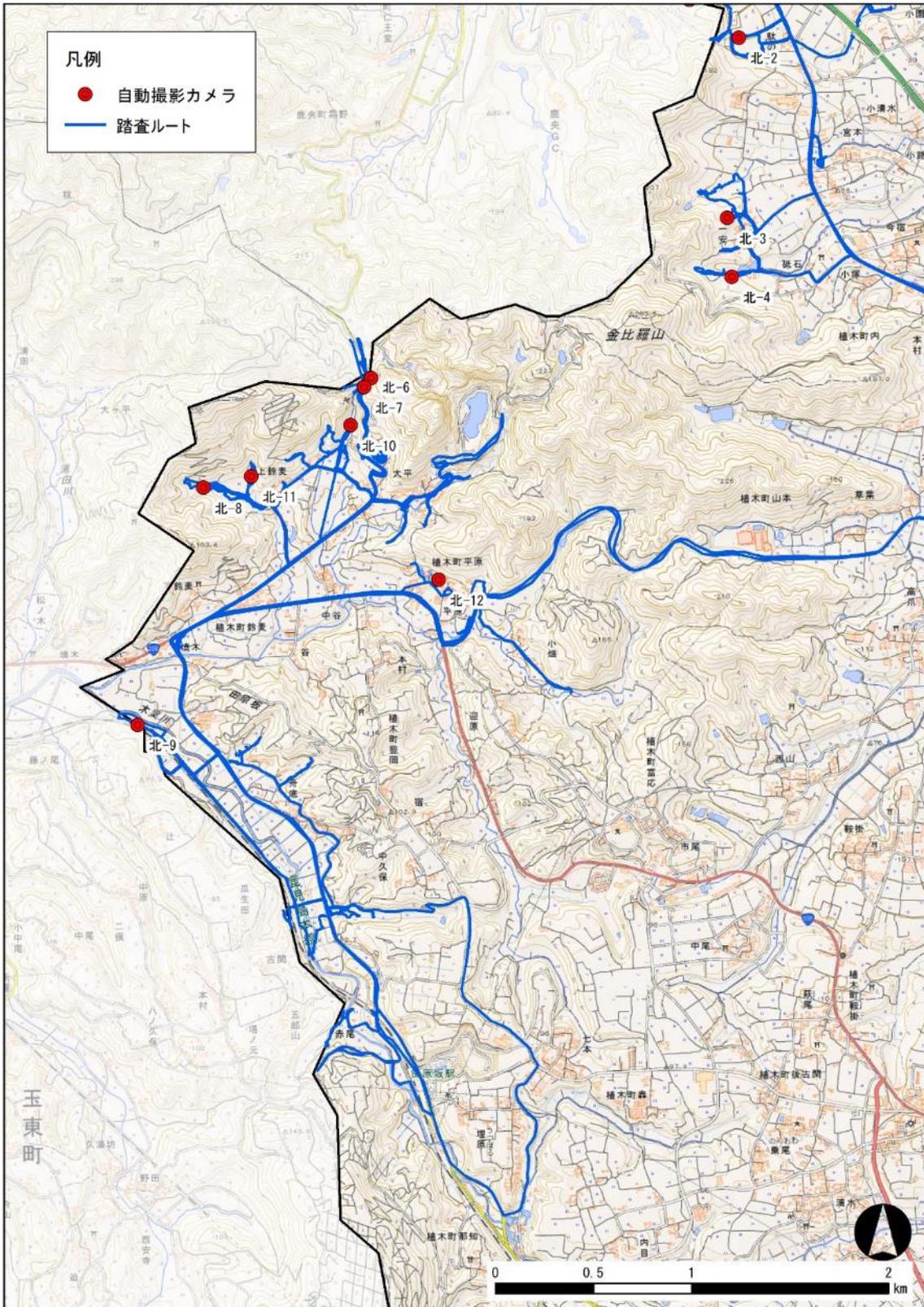


图 2-4 調査実施箇所（詳細：北区-2）



図 2-5 調査実施箇所（詳細：西区）



図 2-6 調査実施箇所（詳細：南区-1）

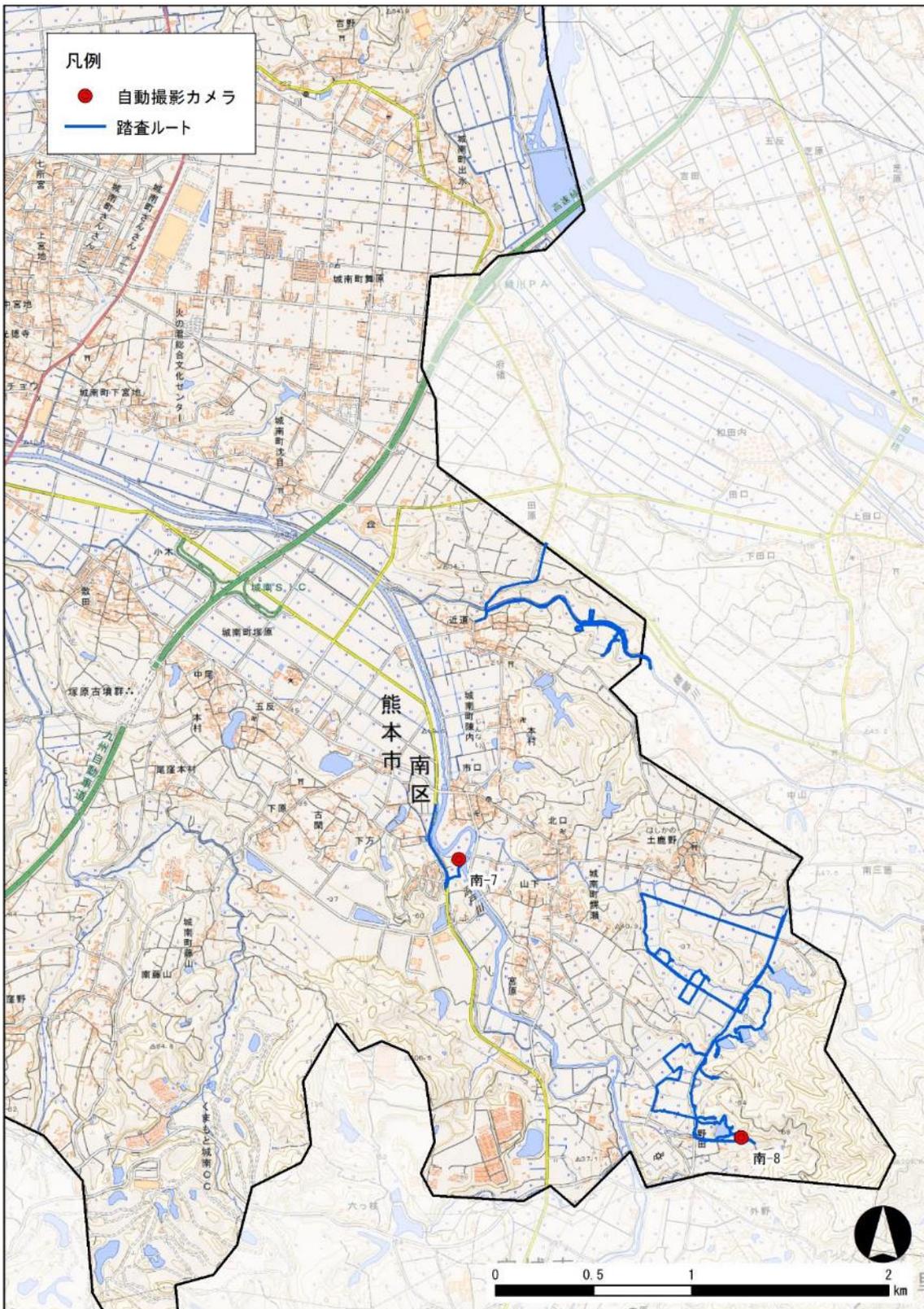


図 2-7 調査実施箇所（詳細：南区-2）

(4) 調査結果

① 結果概要

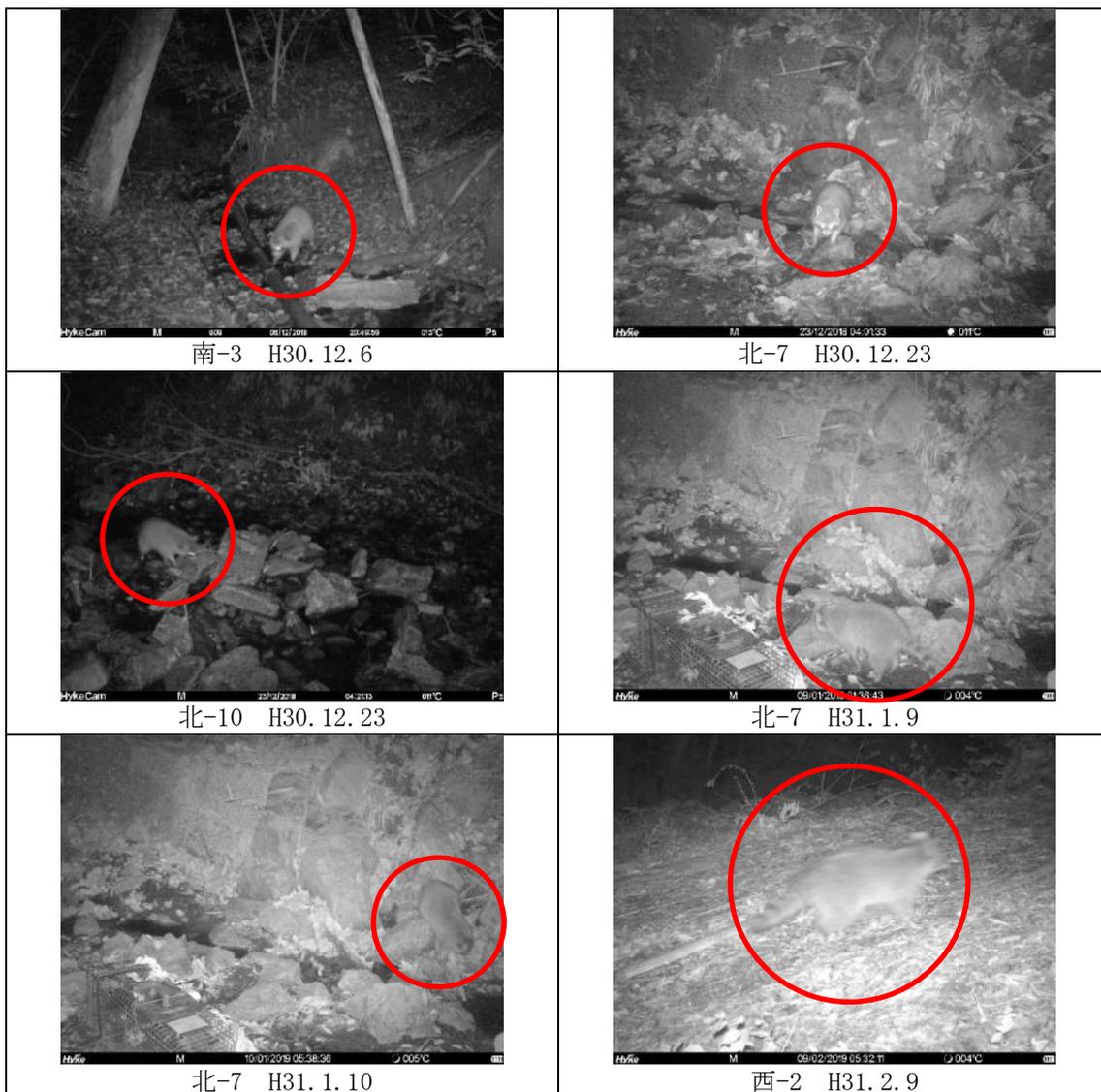
調査の結果、北区植木町平原及び同町鈴麦に設置した自動撮影カメラ（北-7、北-8、北-10）において計6例、西区西松尾町に設置した自動撮影カメラ（西-2）で1例、南区富合町平原に設置した自動撮影カメラ（南-3）で3例の合計10例、アライグマが確認された。

アライグマの確認状況を表 2-8 に示す。

表 2-8 アライグマ確認状況一覧

No.	撮影日	撮影時間	確認地点
1	H30. 8. 25	0 : 25	南-3
2	H30. 8. 29	2 : 38	南-3
3	H30. 9. 23	4 : 29	北-8
4	H30. 11. 7	1 : 43	北-7
5	H30. 12. 6	20 : 49	南-3
6	H30. 12. 23	4 : 01	北-7
7	H30. 12. 23	4 : 21	北-10
8	H31. 1. 9	1 : 36	北-7
9	H31. 1. 10	5 : 38	北-7
10	H31. 2. 9	5 : 32	西-2



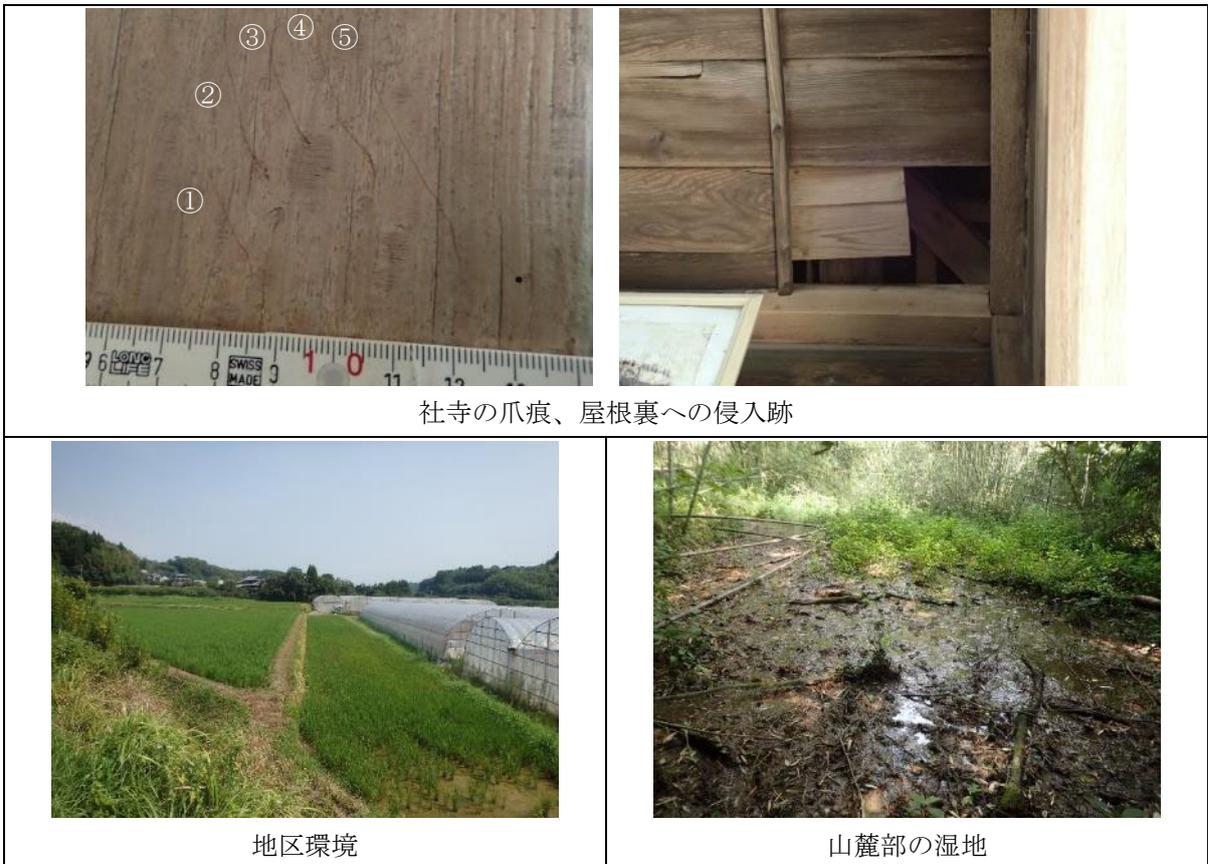


② 北区

フィールドサイン調査の結果、確実な痕跡は確認されなかったが、植木町清水の社寺では、アライグマの可能性のある5本指の爪痕が確認され、屋根裏に侵入している形跡が確認された。また、山麓部ではアライグマの好む湿地や果樹園（スイカ、ブドウ、モモなど）などの環境があり、スイカ畑では種は不明であるものの、動物による被害情報が得られた。

フィールドサイン調査結果を踏まえ、自動撮影カメラを設置した結果、植木町平原（北-7、10）及び同町鈴麦（北-8）においてアライグマが確認された。北-7カメラでは11月7日から1月10日の間に計4回撮影され、同一個体であるかは不明であるが、いずれも成獣と思われる個体であった。撮影は月に1度の間隔であり、頻繁に利用されている場所ではないことが示唆された。北-10カメラは北-7の下流に位置し、撮影された時間も連続することから、北-10カメラで撮影された個体は、北-7カメラで撮影された個体と同一である可能性がある。北-8カメラでは9月23日の1回の撮影のみであることから、分散中の移動個体が一時的に確認されたものと考えられる。

なお、爪痕が確認された社寺（北-3）やスイカの被害が報告された耕作地（北-1）では、タヌキ、イノシシなどが確認されたが、アライグマは確認されず、スイカの被害跡も他種のものと考えられた。



〈アライグマの撮影状況〉



北-7 H30.11.7 1:43



北-7 H30.12.23 4:01



北-7 H31.1.9 1:36



北-7 H31.1.10 5:38



北-8 H31.9.23 4:29



北-10 H30.12.23 4:21

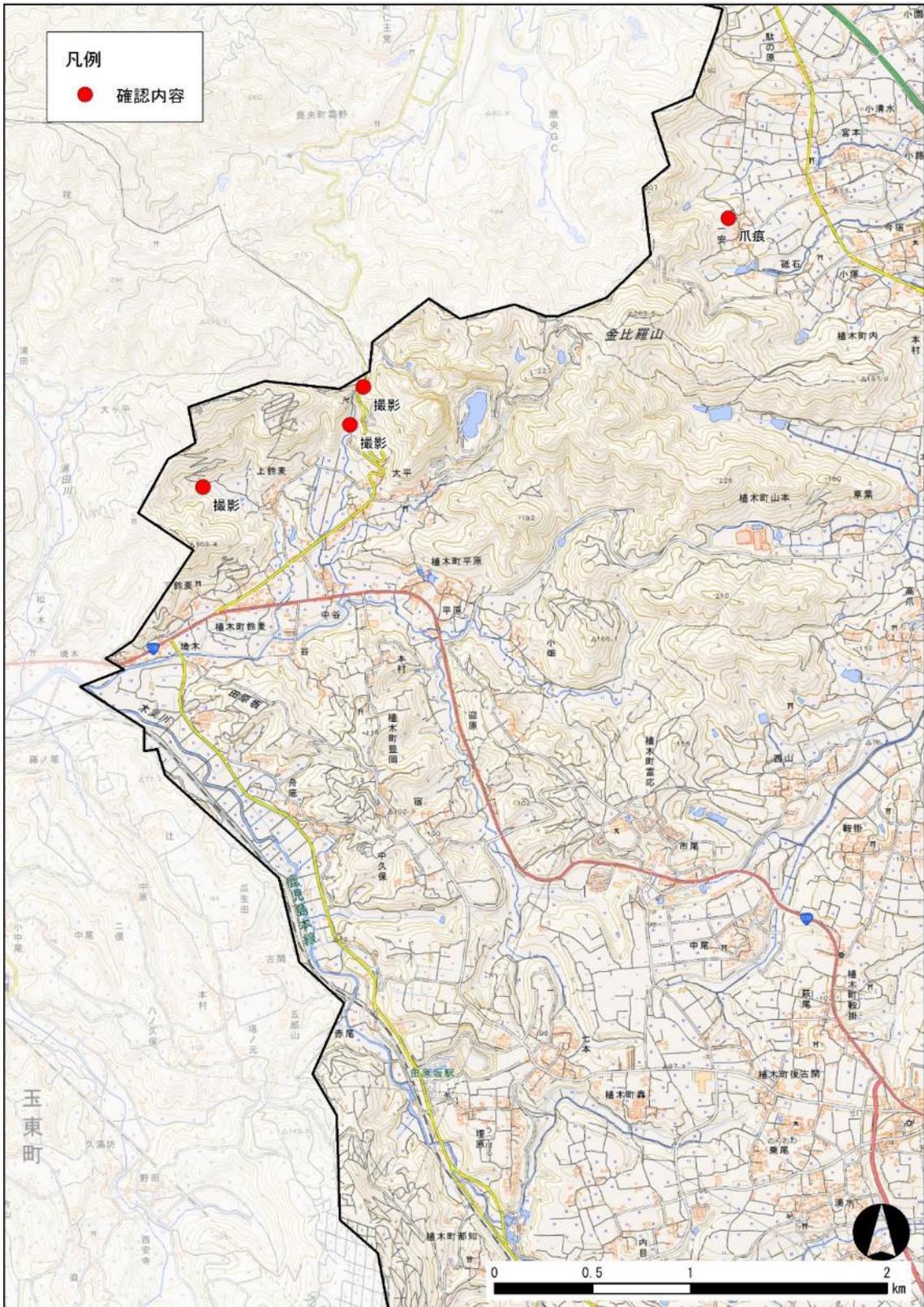


図 2-8 アライグマ確認位置図（北区）

③ 西区

フィールドサイン調査の結果、確実な痕跡は確認されなかったが、中松尾町の社寺にて、アライグマの可能性のある5本指の爪痕が確認された。また、巣穴として樹洞環境を競合するムササビやフクロウの生息も可能と思われる大径木やミカン畑など、アライグマの利用可能な環境が多数確認された。

フィールドサイン調査結果を踏まえ、自動撮影カメラを設置した結果、西松尾町(西-2)においてアライグマが確認された。平成30年1月にへい死体が確認された場所に近い場所であるが、1年以上の期間が開いていることから、周囲で定着しているとは断定できず、分散中の移動個体が確認されたものと考えられる。



〈アライグマの撮影状況〉



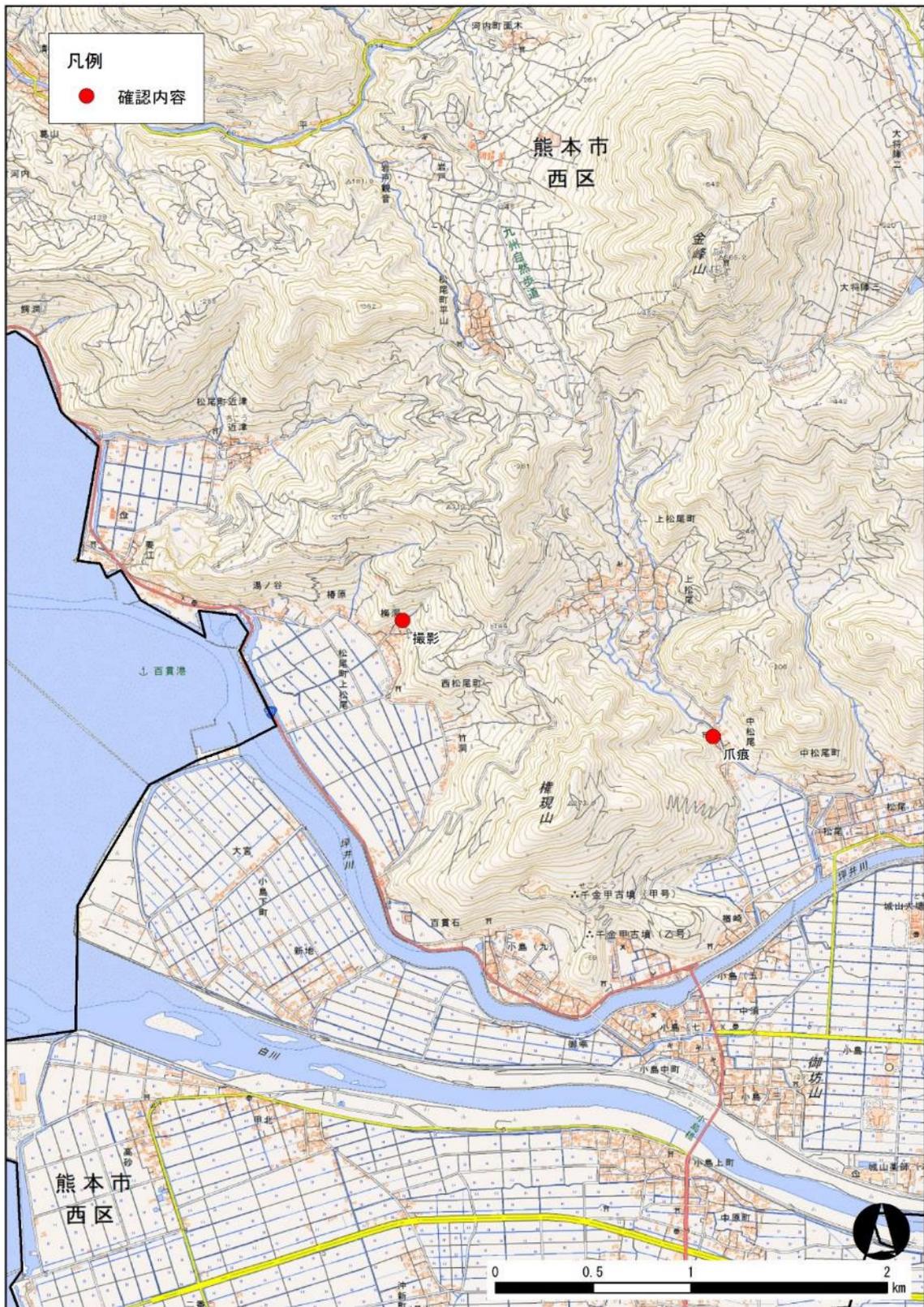


図 2-9 アライグマ確認位置図（西区）

④ 南区

フィールドサイン調査の結果、確実な痕跡は確認されなかったが、御幸木部町の社寺にて、アライグマの可能性のある5本指の爪痕が確認された。また、8月15日には城南町阿高においてアライグマの錯誤捕獲情報が得られた。

フィールドサイン調査結果及び捕獲情報を踏まえ、自動撮影カメラを設置した結果、富合町平原（南-3）においてアライグマが確認された。南-3カメラでは、8月25日、29日に1回ずつ、約3か月後の12月6日に再び1回の計3回が撮影された。同一個体かどうかは不明であるが、いずれも成獣であると思われる個体であった。撮影頻度が低いことから、頻繁に利用されている場所ではなく、移動中の個体が確認されたものと考えられる。



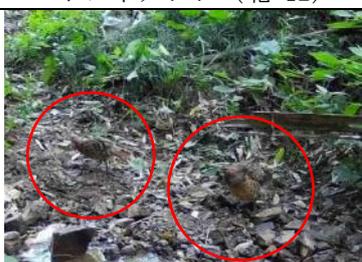
〈アライグマの撮影状況〉

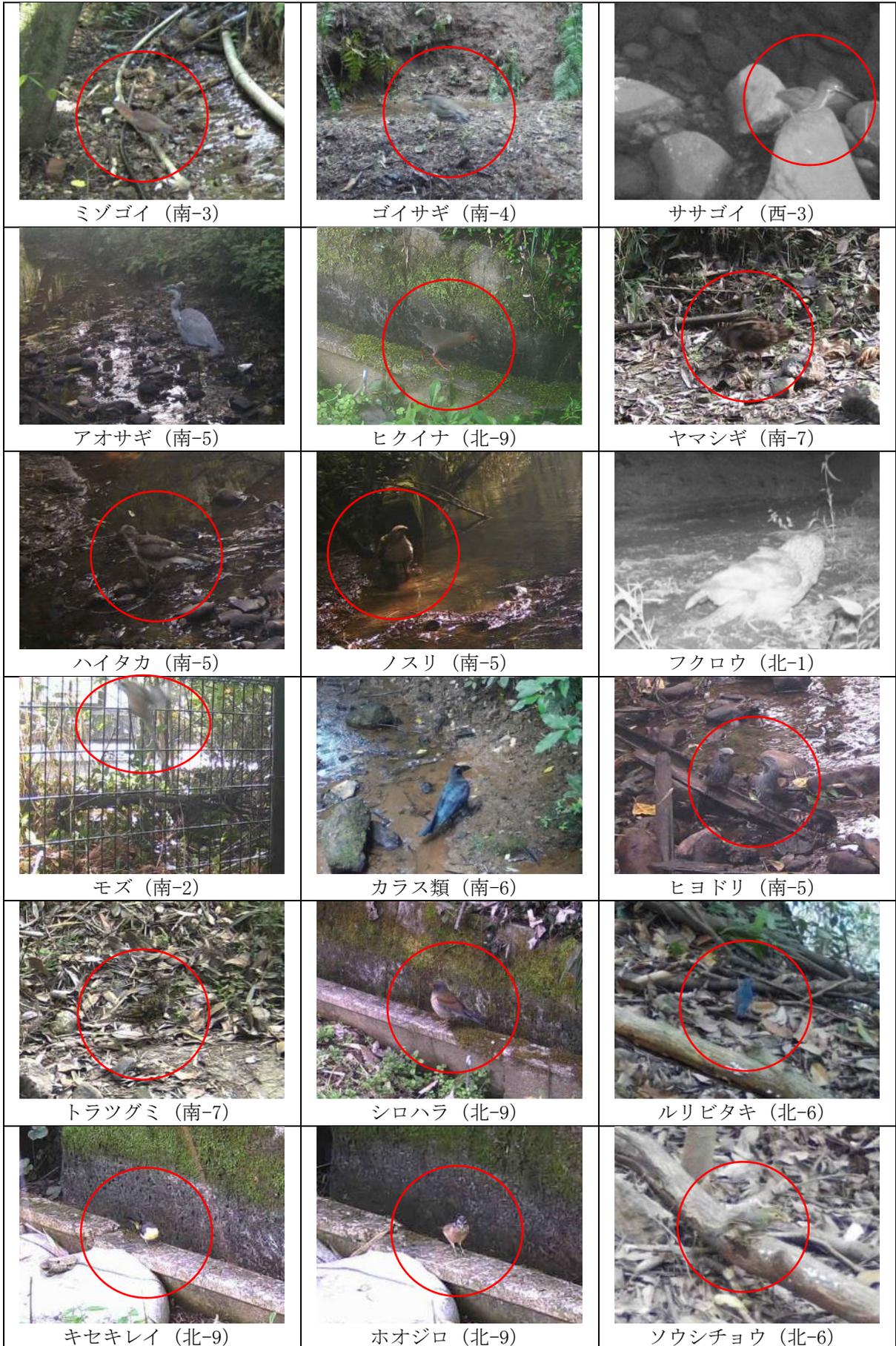




図 2-10 アライグマ確認位置図（南区）

〈撮影種一覧〉 ※アライグマを除く

		
<p>コウモリ類 (南-5)</p>	<p>ノウサギ (北-9)</p>	<p>ネズミ科の一種 (南-7)</p>
		
<p>タヌキ (北-9)</p>	<p>キツネ (南-5)</p>	<p>イヌ (北-6)</p>
		
<p>テン (南-7)</p>	<p>イタチ属の一種 (南-7)</p>	<p>ニホンアナグマ (西-2)</p>
		
<p>ネコ (南-2)</p>	<p>ニホンイノシシ (北-12)</p>	<p>ニホンジカ (南-5)</p>
		
<p>キジ (北-9)</p>	<p>コジュケイ (北-4)</p>	<p>キジバト (西-2)</p>



(5) アライグマ確認状況の再整理

今年度は、本調査において北区、西区及び南区の自動撮影カメラで確認されたほか、熊本県内では県北部を中心として多数のアライグマが確認されている。熊本市内では自動撮影カメラによる確認に加え、8月15日に南区城南町阿高においてイノシシ用のくくり罠で捕獲されており、熊本市での確認事例は計12例となっている（自動撮影カメラにおいて連続して確認されている事例は1例としてカウントされているため、本調査における確認数とは異なる）。

熊本市外では、玉名市や玉東町といった熊本市に隣接する市町でも相次いで確認されており、県内における確認事例は計70例となっている。

平成31年2月時点での熊本県内におけるアライグマ確認情報を表2-10に示す。

表 2-10 熊本県内におけるアライグマ生息確認状況一覧 (1)

(平成31年2月13日時点)

No.	場 所	確認方法	頭数	捕獲等年月日	周辺環境
1	熊本市南区城南町鰐瀬	写真	1	H22.9.19	
2	上益城郡御船町	写真	1	H24.3.3	
3	上益城郡御船町	写真	1	H24.4.28	耕作地脇の沢
4	荒尾市平山小山	捕獲	1	H26.2.3	里山
5	菊池市重味	写真	1	H26.7.25	ブドウ園
6	阿蘇郡小国町大字下城	写真	1	H26.9.30	山林
7	阿蘇郡小国町大字黒渕	写真	1	H26.10.1	山林
8	阿蘇郡小国町大字下城	写真	1	H26.10.3	山林
9	阿蘇郡小国町大字黒渕	捕獲	1	H26.10.23	山林
10	玉名市下	死亡個体	1	H26.12.4	道路上事故死
11	山鹿市鹿北町大字多久	捕獲	1	H27.12.4	里山
12	宇城市松橋町竹崎	写真	2	H28.2.22	道路沿い
13	阿蘇郡高森町大字上色見字大村	捕獲	1	H28.3.20	里山
14	山鹿市小坂	死亡個体	1	H28.9.24	道路上事故死
15	玉名市安楽寺染山地内	捕獲	2	H28.11.6	里山
16	山鹿市(詳細位置不明)	捕獲	1	H28.11.22	鳥獣捕獲報告より
17	山鹿市(詳細位置不明)	捕獲	1	H28.11.15~ H29.2.15	鳥獣捕獲報告より
18	上益城郡益城町	写真(足跡)	1	H29.3.5	水田脇水路
19	宇城市松橋町曲野	捕獲(幼獣)	1	H29.6.9	メロンハウス
20	熊本市南区野田	写真(足跡)	1	H29.6.21	河川沿い
21	熊本市北区植木町豊岡	写真	1	H29.9.23	水路沿い
22	上益城郡山都町金内	死亡個体	1	H29.10.16	道路上事故死
23	宇城市三角町大田尾	死亡個体	1	H29.11.13	道路上事故死
24	熊本市西区西松尾町	死亡個体	1	H30.1.16	道路上事故死
25	山鹿市菊鹿町上内田	捕獲	1	H30.2.21	林道沿い
26	玉名郡南関町関東	写真	1	H30.2.26	ため池
27	玉名市安楽寺	捕獲	1	H30.3.1	畑
28	玉名郡南関町関東	写真	1	H30.3.23	ため池
29	玉名郡和水町日平	捕獲	1	H30.4.24	林道沿い
30	宇土市岩古曾町	写真	1	H30.4.25	民家付近通路

表 2-10 熊本県内におけるアライグマ生息確認状況一覧 (2)

No.	場 所	確認方法	頭数	捕獲等年月日	周辺環境
31	玉名郡和水町日平	捕獲	1	H30.4.26	林道沿い
32	玉名郡南関町関町	捕獲	1	H30.5.5	ため池脇
33	玉名郡南関町関町	死亡個体	1	H30.5.22	道路沿い
34	玉名郡玉東町上木葉	写真	1	H30.7.29	川沿い
35	熊本市南区城南町阿高	捕獲	1	H30.8.15	川沿い
36	玉名郡玉東町上木葉	捕獲	1	H30.8.17	山林
37	熊本市南区富合町平原	写真	1	H30.8.25	山林の沢沿い
38	熊本市北区植木町鈴麦	写真	1	H30.9.23	山林の沢沿い
39	玉名市安楽寺	写真	1	H30.10.6	山林の沢沿い
40	玉名市安楽寺	写真	1	H30.10.7	山林の沢沿い
41	玉名市安楽寺	写真	1	H30.10.10	山林の沢沿い
42	山鹿市石	死亡個体	1	H30.10.10	道路上事故死
43	玉名郡和水町日平	写真	1	H30.10.11	山林の沢沿い
44	菊池市重味	写真	1	H30.10.13	ブドウ園
45	玉名市安楽寺	写真	1	H30.10.20	山林の沢沿い
46	玉名郡玉東町浦田	写真	1	H30.10.22	山林の沢沿い
47	玉名市安楽寺	写真	1	H30.10.24	山林の沢沿い
48	玉名郡玉東町浦田	写真	1	H30.10.30	山林の沢沿い
49	玉名郡玉東町浦田	捕獲	1	H30.10.31	山林の沢沿い
50	玉名郡玉東町浦田	写真	2	H30.11.4	山林の沢沿い
51	玉名市安楽寺	写真	1	H30.11.4	山林の沢沿い
52	玉名郡玉東町上白木	捕獲	1	H30.11.5	山林
53	玉名市安楽寺	捕獲	1	H30.11.5	山林の沢沿い
54	玉名市安楽寺	写真	1	H30.11.5	山林の沢沿い
55	玉名市安楽寺	写真	1	H30.11.6	山林の沢沿い
56	熊本市北区植木町平原	写真	1	H30.11.7	山林の沢沿い
57	玉名郡玉東町浦田	写真	1	H30.11.14	山林の沢沿い
58	玉名郡玉東町浦田	写真	1	H30.11.15	山林の沢沿い
59	山鹿市小坂	写真	1	H30.11.24	山林の沢沿い
60	玉名市安楽寺	捕獲	1	H30.11.24	山林の沢沿い
61	山鹿市菊鹿町上内田	捕獲	1	H30.12.5	山林
62	熊本市南区富合町平原	写真	1	H30.12.6	山林の沢沿い
63	熊本市北区植木町平原	写真	1	H30.12.23	山林の沢沿い
64	玉名郡玉東町浦田	写真	1	H31.1.8	山林の沢沿い
65	熊本市北区植木町平原	写真	1	H31.1.9	山林の沢沿い
66	山鹿市鹿北町椎持	捕獲	1	H31.1.15	宅地
67	玉名市石貫	捕獲	1	H31.1.23	山林
68	菊池市雪野	捕獲	1	H31.2.1	山林の沢沿い
69	熊本市西区西松尾町	写真	1	H31.2.9	山林
70	山鹿市鹿北町多久	捕獲	1	H31.2.13	山林
	70 事例 個体確認 73 頭(うち捕獲及び死亡個体 32 頭)				

※ : 熊本市内での確認

※太字は本調査における確認事例

(6) 熊本市におけるアライグマ確認の経年推移

熊本市においては平成 28 年から生息状況の把握を目的とした調査を実施し、自動撮影カメラを用いて継続的にモニタリングを行っている。これまでの自動撮影カメラ調査での確認状況を表 2-11 に示す。

生息状況調査では平成 29 年度に初めて確認され、平成 30 年度の調査では確認地点数、撮影回数ともに増加していることから、熊本市内に侵入している個体数は徐々に増加していることが考えられる。一方で、平成 29 年度調査と比較して自動撮影カメラの設置台数や撮影日数が増加しているのに対し、撮影頻度には大きな変化が見られないことから、現状では熊本市内への侵入が局所的であり、個体数の急激な増加には至っておらず、侵入初期の段階にあることを示唆していると考えられる。

また、これまでに確認されている個体は全て成獣と思われ、且つ捕獲個体やへい死個体は全てオス個体であることから、熊本市内における定着、繁殖についての確証は得られていない。しかし、周辺市町での繁殖確認や個体の確認事例が増加してきていることなどから、熊本市内においても定着し、個体数が急激に増加する危険性が高まってきていると考えられる。

今後も侵入状況のモニタリングを継続して行い、確認後には早期対応を実施することが望ましいと考えられる。

表 2-11 生息状況調査におけるアライグマ確認状況の経年推移

年度	地区	カメラ 設置箇所数	アライグマ 確認地点数	撮影日数※	アライグマ 撮影回数	撮影頻度 (回/日)
平成 28 年度	合計	13	0	761	0	0.0000
	北区	5	0	276	0	0.0000
	西区	4	0	254	0	0.0000
	南区	3	0	194	0	0.0000
	東区	1	0	37	0	0.0000
平成 29 年度	合計	15	2	1772	6	0.0034
	北区	9	1	877	5	0.0057
	南区	6	1	895	1	0.0011
平成 30 年度	合計	23	5	3816	10	0.0026
	北区	12	3	1765	6	0.0034
	西区	3	1	588	1	0.0017
	南区	8	1	1463	3	0.0021

※撮影日数は設置カメラ全台の合計日数